

Studyaid^{DB} information vol.21



Studyaid^{DB} を使用中に、こんなメッセージが出たら…

「数研フォントがインストールされていません」

上は、Studyaid D.B.を起動する際に発生することがあるエラーメッセージです。このメッセージが出た場合、Windows 側のなんらかの原因によりフォントキャッシュファイルが壊れている可能性があります。以下の手順による修復をお試しください。

【修復の前に】

Studyaid D.B.をインストールした状態で「コントロールパネル」にある「フォント」を開いてください。

〈手順〉

1. スタートボタンをクリック
2. メニューが表示されたら「コントロールパネル」をクリック
3. コントロールパネルにある「フォント」をダブルクリック
「フォント」の項目がない場合は、画面左側にある「クラシック表示に切り替える」をクリックすれば表示されます。

ご使用のパソコンにインストールされているフォントの一覧が表示されます。

その中に、次の11個(*)の数研フォントが存在するかご確認ください。

Suken Roman	Suken Roman Italic	Suken News Gothic
Suken Greek	Suken Greek Italic	Suken Kigou 1
Suken Kigou 2	Suken Kigou 4	Suken Mark 2
Suken JRoman	Suken JRoman Italic	

- このとき、存在しないフォントがある場合は、そのフォントだけを以下の手順に従ってインストールしてください。

〈手順〉

1. CD-ROMドライブにStudyaid D.B.のCD-ROMをセットする
2. コントロールパネルの「フォント」を開いた状態で、メニューバーの「ファイル」をクリック
3. 「新しいフォントのインストール」をクリック（フォントの追加プロパティが開く）
4. ドライブをCD-ROMドライブにあわせる
5. 数研フォントが表示されるので、存在しないフォントを選択後、「OK」ボタンをクリック
6. パソコンを再起動

- 11個のフォントがすべて存在している場合は、フォントキャッシュファイルが壊れていることが原因として考えられます。右ページの方法でフォントキャッシュファイルを再構築してください。その際、OSの違いによって修復方法が若干異なります。ご注意ください。

数研フォントの数が11個存在するのは2001年版以降の商品の場合です。96年版では6個、97・98年版では7個、99・2000年版では9個となります。詳しくは、取扱説明書の使用許諾契約書の部分をご覧ください。

(以下の方法でのフォントキャッシュファイルの再構築は、Microsoft社から提供されているサポート技術情報で発信されていますので、ほかのアプリケーションなどに影響は与えないと思われます)

【Windows 95, Windows 98, Windows Me をお使いの場合】

〈手順〉

1. Safe モードで Windows を起動する

再起動する際に、起動メニューが表示されるまで Ctrl キーを押しつづけます。
(コンピュータによっては、F8 キーで起動メニューを表示するものもあります)
メニューが表示されたら「Safe モード (Safe mode)」の番号を入力します。

2. ハードディスクの Windows フォルダの中にある「tfcCache」ファイルを削除する

エクスプローラーやマイコンピュータなどを使って削除してください。

この「tfcCache」というファイルには拡張子がありません。隠しファイルになっていますので、もし見つからない場合は、エクスプローラーやマイコンピュータの「表示」または「ツール」からフォルダオプションを開き、「すべてのファイルを表示する」設定にしてください。

3. 再起動 (通常の Windows 起動) する

4. Studyaid D.B. を起動する

【Windows NT, Windows 2000, Windows XP をお使いの場合】

〈手順〉

1. Safe モードで Windows を起動する

再起動する際に、起動メニューが表示されるまで F8 キーを押しつづけます。
メニューが表示されたら「Safeモード (Safe mode)」の番号を入力します。

Safe モードで起動できない場合は、ログオンしているアカウントをご確認ください。

Safe モードで起動するためには、管理者権限をもつアカウントでのログオンが必要です。

標準または制限つきアカウントタイプのユーザーは、Safe モードで開始するためのアクセス権をもちません。

2. 「fntcache.dat」ファイルを削除する

「スタート」から「検索」をクリック。

「何を検索しますか」で「ファイルとフォルダすべて」をクリックし、

「ファイル名のすべてまたは一部」ボックスに fntcache.dat と入力して検索。

検索結果に表示された fntcache.dat ファイルを選択します。

メニューバーの「ファイル」から「削除」します。

3. 再起動 (通常の Windows 起動) する

4. Studyaid D.B. を起動する

ご不明な点がございましたら、弊社までご連絡ください。

TEL : 075-231-0161 (代表)

FAX : 075-256-2936

メールでのお問合せもお受けしております。

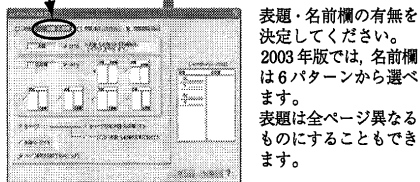
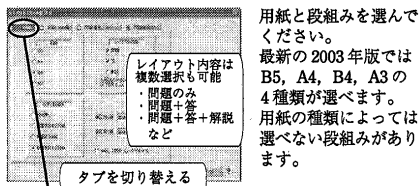
E-mail : stddb@suken.co.jp

Studyaid D.B. を使いこなす

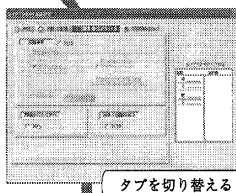
Studyaid D.B. はあるけれども使ったことがない。使っているけれども詳しくは知らない。そういう方のために、基本的な操作や便利な使い方などをご紹介します。今回は、問題を検索した状態からレイアウトするまでをご紹介します。

第3回 レイアウトを決める

① 検索結果画面で「次へ」を左クリックすると、「レイアウトスタイルの設定」画面に移動します。(設定によりこの画面が出ないようにすることもできます)ここで大まかなスタイルを決定しておきます。



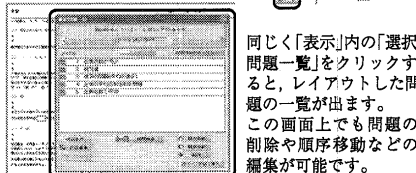
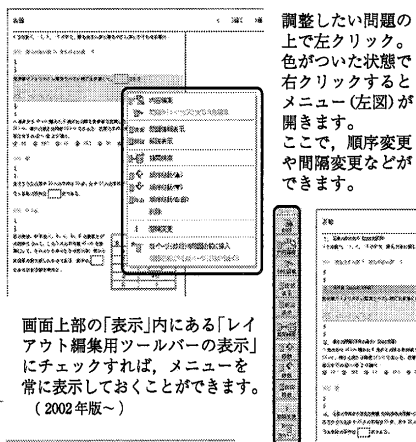
問題番号、問題タイトル、出典の有無を決定してください。
2001年版以降の商品であれば、問題番号のすぐ横から問題文を始めるようにも設定できます。



問題間隔を設定します。ここでは、すべての問題が対象となります。個別に間隔を変えたい場合はレイアウト後に行います。OKを押すとレイアウト画面になります。



② 問題の順序入れ替え、不要な問題の削除、類問の追加、個別の間隔調整などを行います。(「スタイル」ボタンをクリックすれば①に戻ります)



なるほど Studyaid D.B.

問題番号「0番」は何のためにある？
→ 問題番号の0番を表示しない機能を利用して下のようなプリントを作ることができます。一度お試しください。

例題つきプリント
基本的な問題を0番に配置して例題とします。後は、類問を追加していけば確認プリントの完成です。

リード文をつける
「次の計算をしなさい」、「以下の問いに答えなさい」といったリード文をつけたいときに便利です。